

鰺ヶ沢漁業用海岸局

事業目的

試験船、取締船並びに一般漁業船との指導監督、漁業通信を行なうことにより、人命財産の保全、操業秩序の維持及び200海里水域内の安全と海難防止を図り、漁業経営の安定に資する。

事業内容

1. 実施期間 昭和57年4月1日～昭和58年3月31日
2. 交信海域 日本海全海域、北部太平洋海域、青森県沖合全海域
3. 担当者 局長 長谷繁蔵
主任 工藤衛
主任 大友守
技師 中川賢三
4. 取扱通信種別
 - (1) 指導監督通信
 - 日本海さけ、ます漁業位置報告通信
 - 試験船及び取締船との通信
 - 調査協力船との漁海況情報通信
 - 日韓共同規制水域位置報告通信
 - 200海里内漁獲報告通信
 - 気象及び航路警報通信
 - 事故通信
 - (2) 遭難、緊急、安全通信
 - (3) 漁業通信
5. 通信方式
 - (1) 無線電話（SSB方式）による送受信
 - (2) 気象、漁海況のファックス受信
 - (3) 遭難自動受信機による無休聴守
 - (4) セルコール送信機による通信
6. 勤務形態
宿日直制勤務

事業実施状況

1. 気象及び航路警報等の隨時放送により、海難事故の未然防止と漁海況放送による漁業の生産性を高めた。
2. 漁海況情報収集事業の強化により、日本海における予報事業の円滑化と資源充明に大きく貢献した。
3. 200 海里漁獲報告通信の確保及び出漁各船の位置報告通信により船舶の安全操業に寄与した。

表1 通信取扱実績

種別 月	指導通信	漁業通信	气象	事故	保安	相手局数	通信時間
4	2,679 件	512 件	22時30分	1 件	7 件	1,777 局	455 時 00 分
5	3,214	1,141	23 15		4	2,410	470 10
6	3,044	1,617	22 30		4	2,297	455 00
7	4,123	2,197	23 15		3	3,072	470 10
8	3,413	1,514	23 15		8	2,526	470 10
9	4,460	1,932	22 30		3	3,660	455 00
10	2,162	4,020	23 15		6	3,465	470 00
11	2,873	1,717	22 30	1	4	2,335	455 00
12	2,410	1,366	23 15		4	1,932	470 10
1	935	402	23 15		2	611	470 10
2	737	218	21 00		0	410	424 40
3	1,202	210	23 15		8	659	470 10
合計	31,252	16,846	273 45	2	53	25,154	5,535 50
前年度計	36,846	14,113	271 30	4	46	26,648	5,535 50
前年度比	84.8 %	119.3 %	100.7 %	50 %	115.2 %	94.3 %	100 %

表2 空中線電力別隻数

種別	出力	10W	50W以上	電信電話併設船	合計
官 庁 船		2	1	3	6
民 間 船		80	56	1	137
合 计		82	57	4	143
前 年 度 計		85	61	4	149
前 年 度 比		96.4%	93.4%	100%	95.9%

表3 地域別、トン数別隻数

地域 トン数	官 庁	沢 岩	辺 崎	深 浦	鰯ヶ沢	市 浦	下 前	小 泊	三 竜	厩 飛	青 今	森 別	合 計
10t以下				3	1		24	18	3				49
11～ 20			2	7	7	2	12	12	5		2		49
21～ 50	3			4	7		5	3	1				23
51～ 100	1	1		1	1		2	5			3		14
100t以上	2												2
合 計	6	3	15	16	2	43	38	9	5				137
前年度計	6	3	17	17	2	46	43	10	5				149
前年度比	100%	100%	88.2%	94.1%	100%	93.4%	88.3%	90%	100%				91.9%